



各位

2013年6月12日

株式会社 おきぎん経済研究所

おきぎん県内景況・確報(2013年4月分)

個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。

*** 4ヵ月連続 ***

○個人消費関連

スーパー売上高・百貨店…スーパー売上高は「全店ベース」で前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額…太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回る。

新車登録台数…エコカー補助金制度終了により一部で需要の減少がみられるものの、レンタカー需要の増加などにより前年同月を上回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を下回り、生コン、セメントはともに上回る。

○観光関連

入域観光客数…7ヵ月連続で前年同月を上回る。

主要大型ホテル稼働率…那覇市、西海岸、ビジネスの全てで前年同月を上回る。

観光施設入場者数…6ヵ月連続で前年同月を上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を上回る。有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産(3月)…前月より上昇。

大口電力使用量…前年同月を上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月を下回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格は上回る。

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

担当: 當銘(全般・建設関連)、上地(観光関連)、喜瀬(個人消費関連)


電話: 098-869-8711(代表)、ファクシミリ: 098-869-2200

現場主義とお客様からの信頼

おきぎん県内景況・確報(2013年4月分)

◎2013年4月 おきぎん「カトリア」景況図



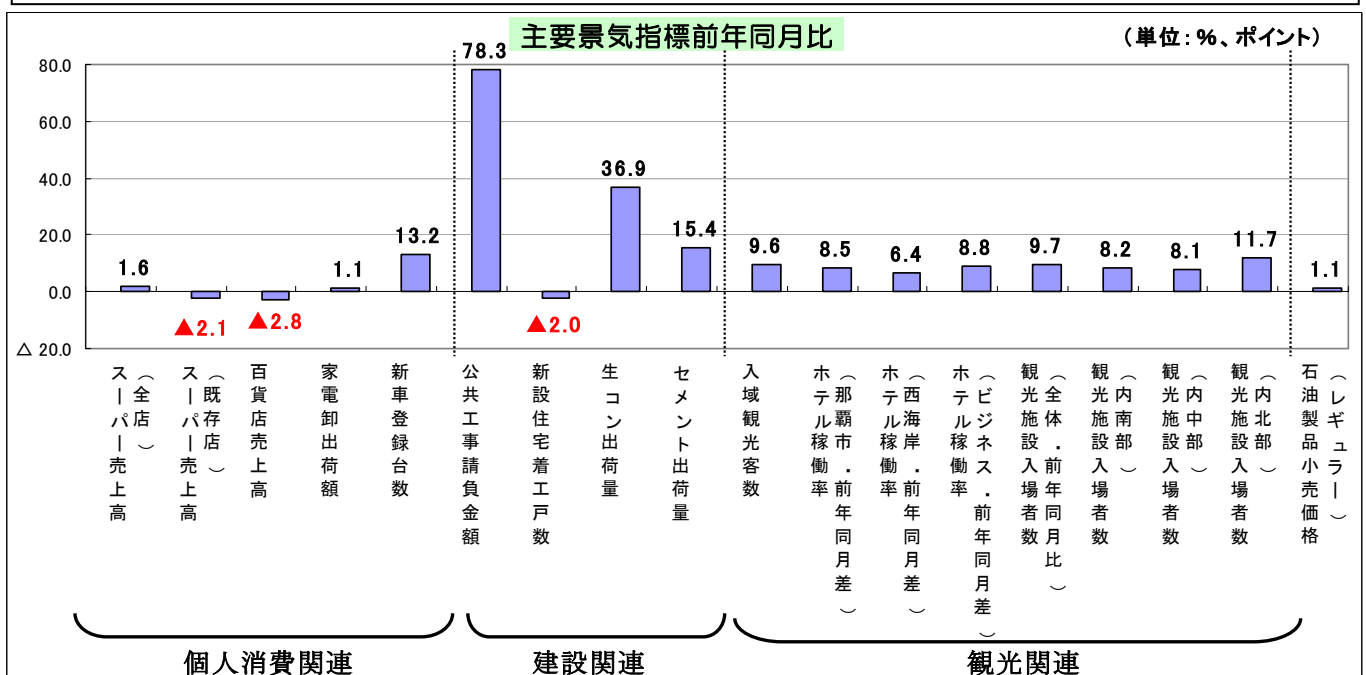
◎概況： 個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが低調で前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回りました。新車登録台数は、レンタカー需要の増加などにより、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額はその他公的団体や沖縄県発注工事により前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は7ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率は那覇市内主要ホテル、西海岸リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている」と景気判断を据え置きました。(4ヵ月連続)



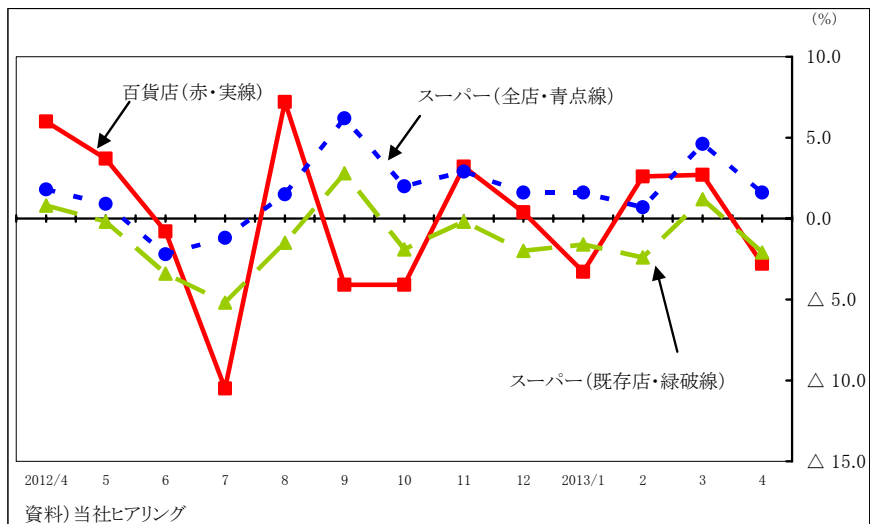
■個人消費: (ふつう)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高で全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースでは下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2012/4	1.8	0.8	6.0
5	0.9	△ 0.2	3.7
6	△ 2.2	△ 3.4	△ 0.8
7	△ 1.2	△ 5.2	△ 10.5
8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8

注) 前年同月比



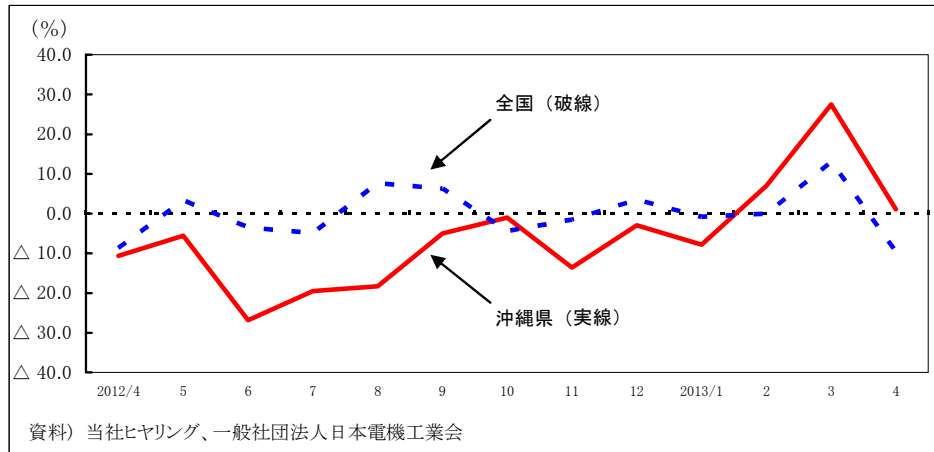
4月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 1.6%増)」が9ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 2.0%増)」や「家庭用品(同 3.6%増)」が前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 2.1%減)」では2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。(以下、既存店ベース)品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 1.4%減)」は、昨年よりも日曜日の回数が1日少なかったことや天候不順により来店客数が減少したほか、清明祭(シーミー)の食料品需要も伸びなかったことなどから前年同月を下回りました。「衣料品(同 11.0%減)」は、昨年よりも気温が低かったことなどから、夏物衣料の売れ行きが低調で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 1.1%減)」は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、衣料品や雑貨などの売れ行きが低調で、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 2.8%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 3.2%減)」は、「婦人服(同 3.7%減)」が一部店舗撤退の影響により前年同月を下回ったほか、「紳士服(同 4.9%減)」や「子供服(同 11.6%減)」も昨年より気温が低く、夏物衣料の売れ行きが低調だったことなどから前年同月を下回りました。「雑貨(同 7.1%減)」は、昨年の店舗内新規テナントオープンによるリニューアル効果(2012年3月)の反動、「食料品(同 1.1%減)」は、食料品催事の未開催などにより前年同月を下回りました。一方、「身の回り品(同 2.1%増)」はセール広告の強化など、販売促進活動が奏功し前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの需要増加などにより前年同月を上回る。

単位:%		
	沖縄県	全国
2012/4	△ 10.6	△ 8.7
5	△ 5.6	3.3
6	△ 26.8	△ 3.5
7	△ 19.5	△ 4.9
8	△ 18.3	7.7
9	△ 5.0	6.3
10	△ 1.0	△ 4.4
11	△ 13.6	△ 1.5
12	△ 3.0	3.5
2013/1	△ 7.8	△ 0.8
2	7.0	0.0
3	27.5	13.0
4	1.1	△ 9.6

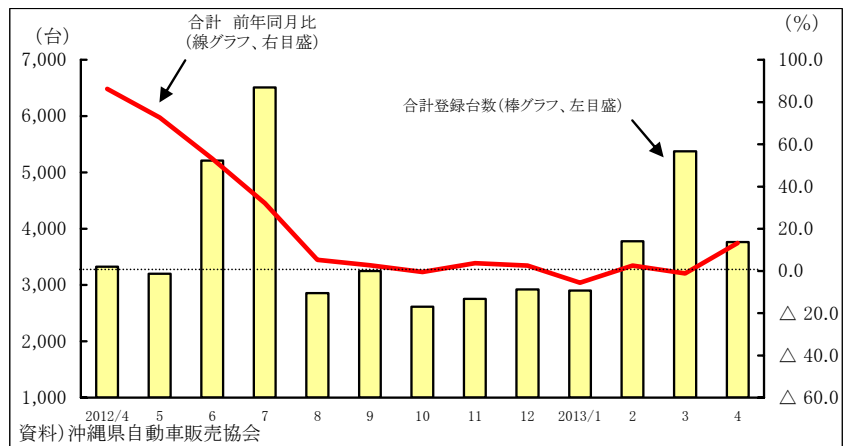


注) 前年同月比

家電卸出荷額は、太陽光パネルの需要が堅調に推移したことなどにより、3ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 1.1%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 19.3%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 31.0%減)」や「DVDレコーダー(同 8.7%減)」は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。「エアコン(同 5.2%減)」は、昨年よりも気温が低かったことなどから前年同月を下回ったほか、「冷蔵庫(同 0.4%減)」や「洗濯機(同 19.5%減)」も前年同月を下回りました。

③新車登録台数…レンタカー需要の増加などにより前年同月を上回る。

単位:台,%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/4	3,323	86.3	205.0	25.5	122.7
5	3,200	72.6	71.5	96.3	68.4
6	5,212	53.2	23.0	46.1	76.7
7	6,511	32.1	41.3	9.7	75.7
8	2,856	5.3	12.9	△ 12.9	24.3
9	3,248	2.7	△ 12.2	△ 12.8	13.9
10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7



注) 前年同月比

新車登録台数は、全体で 3,763 台となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 13.2%増)。レンタカー需要の増加などにより「小型乗用車(同 30.2%増)」が 2ヵ月ぶりに前年同月を上回ったほか、「軽乗用車(同 8.7%増)」も、新商品(新車種、モデルチェンジ等)の需要が堅調に推移し、19ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、「普通乗用車(同 7.6%減)」は、エコカー補助金制度終了(2012年9月21日)の影響などにより2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

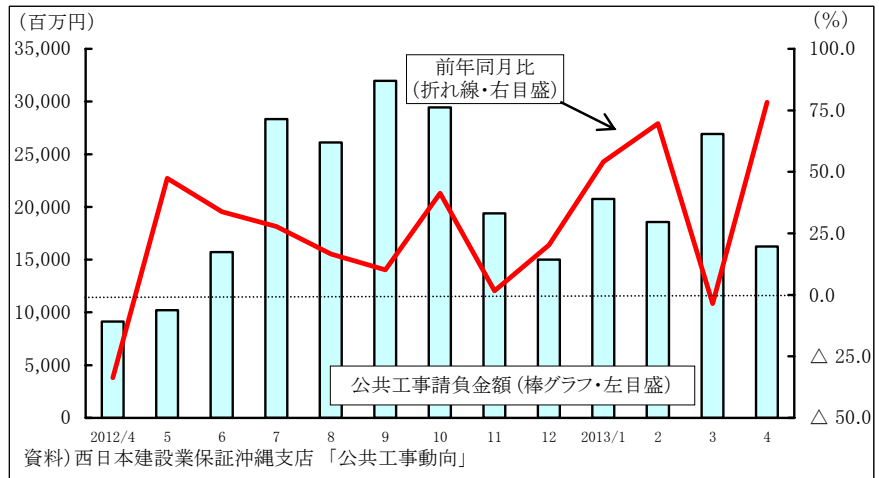


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2012/4	9,119	△33.7
5	10,203	47.4
6	15,723	33.7
7	28,340	27.8
8	26,136	16.6
9	31,974	10.2
10	29,432	41.3
11	19,400	1.7
12	14,996	20.2
2013/1	20,766	54.0
2	18,588	69.6
3	26,905	△3.6
4	16,255	78.3

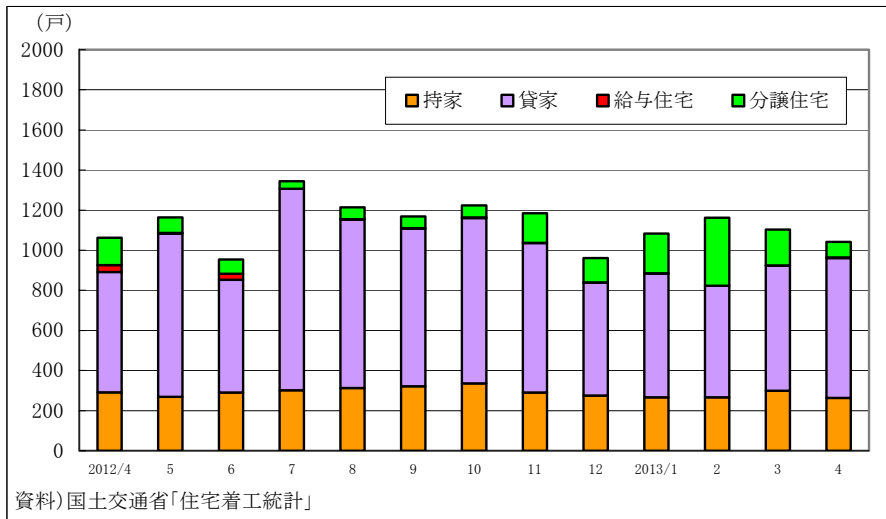


4月の**公共工事請負金額**は、前年同月比78.3%増の162億5,500万円となりました(2ヵ月ぶりに増)。発注者別でみると、「その他の公的団体(同10.7倍)」は沖縄科学技術大学院大学関連設備工事、「沖縄県(同61.3%増)」は新石川浄水場関連工事などの大型案件、「国(同38.1%増)」や「市町村(同38.4%増)」などのその他機関発注工事も増加し、全体では前年同月を大きく上回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を下回り、生コン、セメントは上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2012/4	1,062	△37.0
5	1,164	102.8
6	954	△17.1
7	1,344	45.6
8	1,215	14.5
9	1,168	29.3
10	1,223	19.9
11	1,184	11.7
12	961	4.5
2013/1	1,083	9.1
2	1,162	62.5
3	1,103	51.1
4	1,041	△2.0

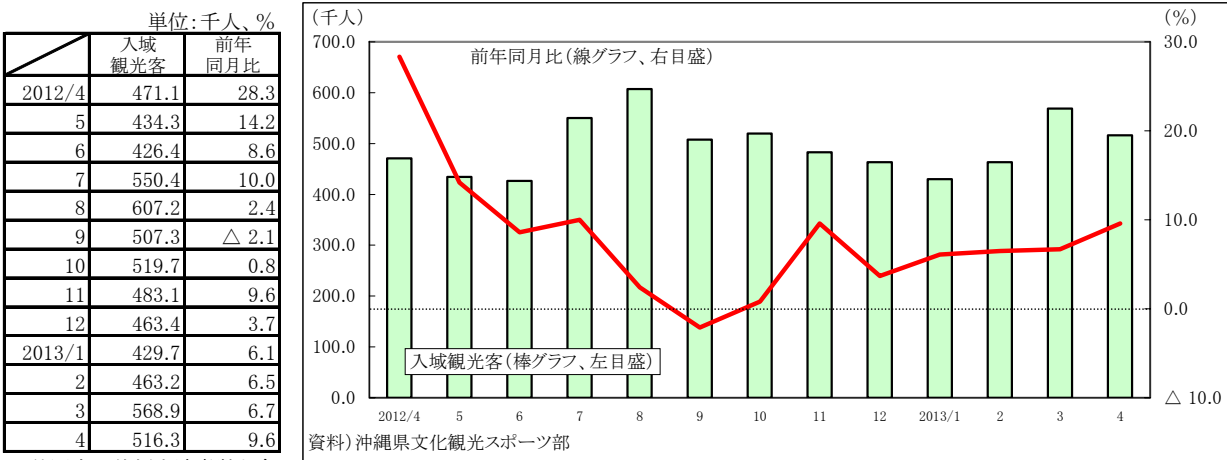


4月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比2.0%減の1,041戸と10ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同16.3%増)」が前年同月を上回ったものの、「持家(同9.3%減)」や「分譲住宅(同44.1%減)」が下回りました。**建設資材関連**では、生コンの出荷量は36.9%増加し、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より55.2%増加し、民間工事向け出荷も29.6%増加しました。セメントの出荷量は15.4%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



■観光関連: (やや良い)

①入域観光客数…7ヵ月連続で前年同月を上回る。



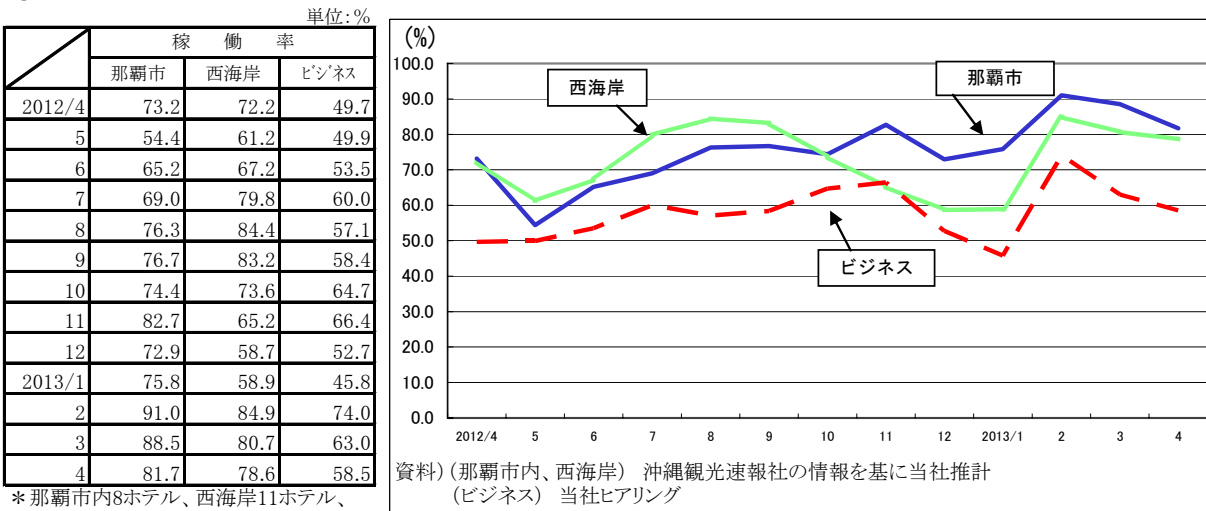
※外国客は特例上陸者数を含む

4月の入域観光客数は、前年同月より9.6%(45,200人増)多い516,300人となり、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、「国内客(同6.8%増)」はLCC就航効果や、新石垣空港の開港効果などにより前年同月を上回りました(7ヵ月連続)。他方、「外国客(同45.5%増)」は、49,900人(15,600人増)となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。「中国本土(同29.8%減)」は弱い動きが続くものの、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港などにより「台湾(同55.6%増)」「韓国(同100.0%増)」は前年同月を上回りました。

※2013年4月より外国客は特例上陸者(クルーズ船乗務員)を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※特例上陸者を除く2013年4月実績＝全体504,000人(同8.8%増)、外国客37,600人(同41.9%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…那覇市内主要ホテル、西海岸、ビジネス全てにおいて前年同月を上回る。



※那覇市内8ホテル、西海岸11ホテル、ビジネス7ホテル

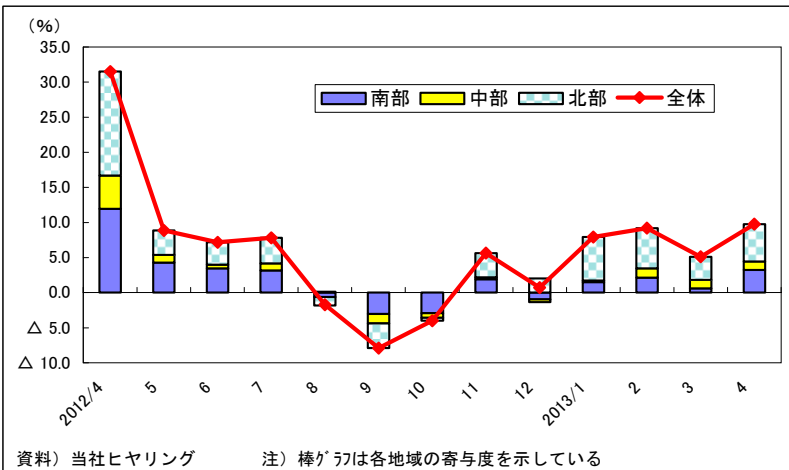
県内ホテル稼働率は、那覇市内主要ホテルが81.7%と8.5ポイント上昇(8ヵ月連続)、西海岸リゾートホテルが78.6%と6.4ポイント上昇(3ヵ月連続)、那覇市内ビジネスホテルが58.5%と8.8ポイント上昇(14ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…6ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/4	31.5	29.7	32.2	33.0
5	8.8	10.7	7.5	7.6
6	7.2	8.5	4.3	6.8
7	7.8	9.5	8.9	6.6
8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.7	8.2	8.1	11.7

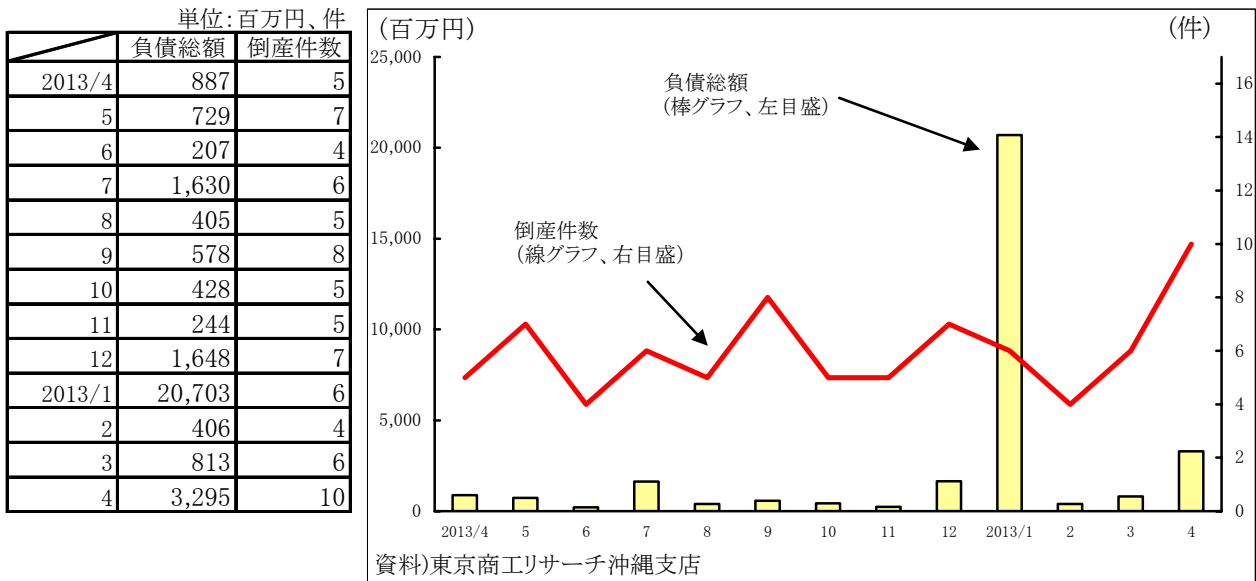
*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より9.7%増加(6ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同8.2%増と4ヵ月連続、中部は同8.1%増と4ヵ月連続、北部は同11.7%増と6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

■企業倒産： (ふつう)

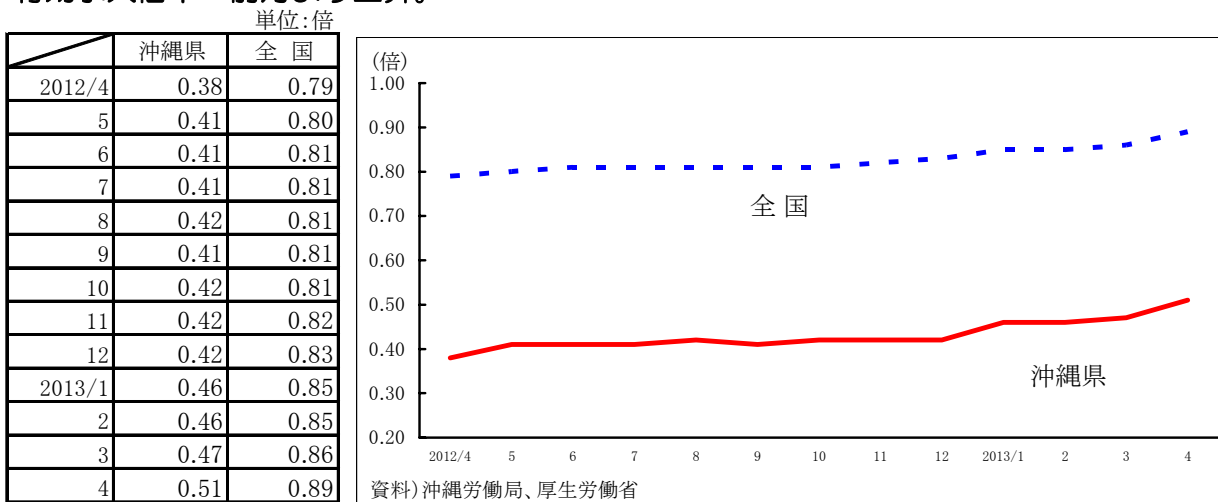
企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を上回る。



4月の**企業倒産件数**は、10件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産8件)発生し前年同月より5件多くなりました。負債総額は32億95百万円と前年同月より3.7倍に増えました。


■雇用関連： (ふつう)

有効求人倍率…前月より上昇。



注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

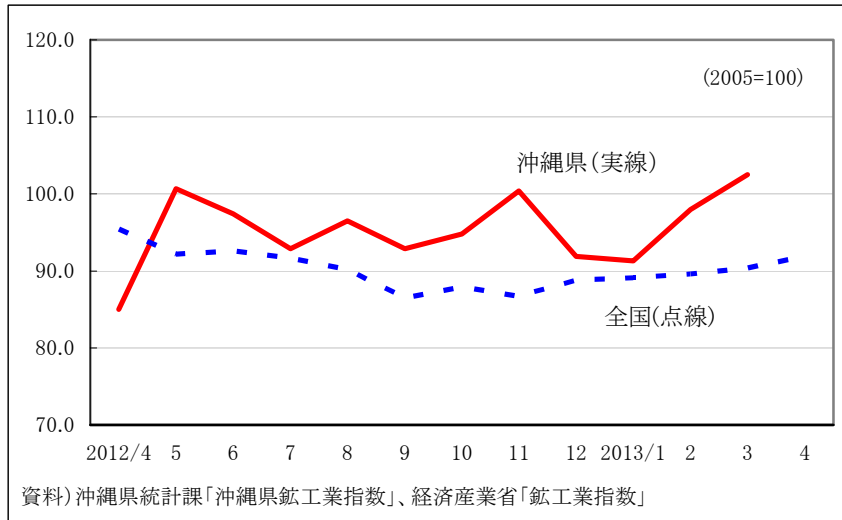
4月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比5.2%増の16,594人に対して、月間有効求職者数(同上)は同2.7%減の32,432人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.51倍と前月より0.04ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より1.5ポイント低下し、7.4%となりました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より上昇。

	沖縄県	全国
2012/4	85.0	95.4
5	100.7	92.2
6	97.4	92.6
7	92.9	91.7
8	96.5	90.2
9	92.9	86.5
10	94.8	87.9
11	100.4	86.7
12	91.9	88.8
2013/1	91.3	89.1
2	98.0	89.6
3	102.5	90.4
4	-	P 91.9

注1) 数値は季節調整済指数
注2) 基準は2005年=100

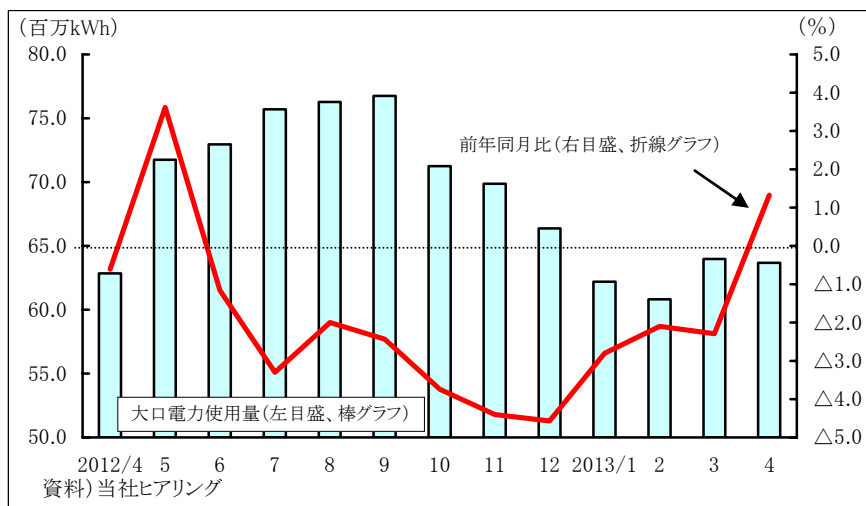


鉱工業生産指数(県内:3月)は、前月より4.6%上昇し、102.5となりました。産業別にみると、「木材・木製品工業(同 203.3%増)」や「その他の工業(同 22.1%増)」等の業種で前月を上回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

単位: 百万kWh、%

	大口電力 使用量	前年 同月比
2012/4	62.8	△0.6
5	71.7	3.6
6	73.0	△1.2
7	75.7	△3.3
8	76.3	△2.0
9	76.8	△2.4
10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8
2	60.8	△2.1
3	64.0	△2.3
4	63.7	1.3

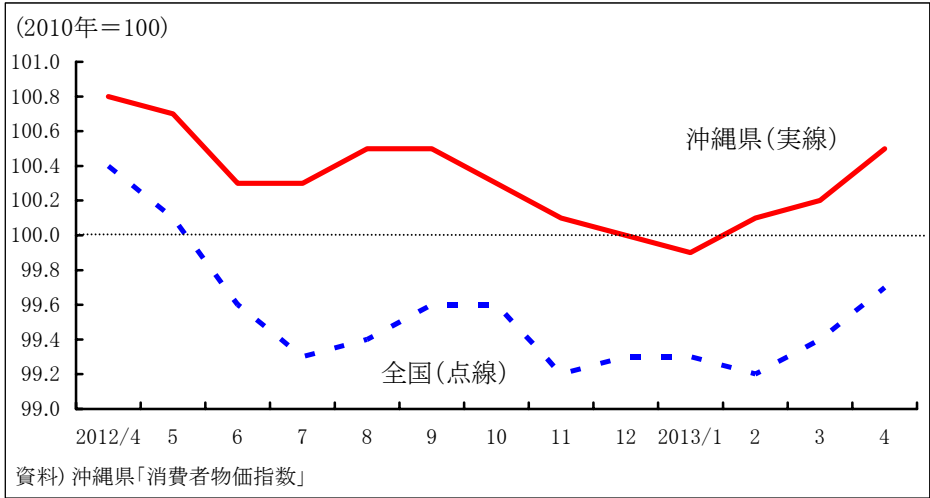


4月の大口電力使用量は、「窯業土石製造業(同 10.6%減)」や「食品製造業(同 2.9%減)」等が前年同月を下回ったものの、「石油・石炭製造業(同 142.9%増)」などが前年同月を上回り、全体では前年同月より1.3%増加しました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を下回る。

	沖縄県	全国
2012/4	100.8	100.4
5	100.7	100.1
6	100.3	99.6
7	100.3	99.3
8	100.5	99.4
9	100.5	99.6
10	100.3	99.6
11	100.1	99.2
12	100.0	99.3
2013/1	99.9	99.3
2	100.1	99.2
3	100.2	99.4
4	100.5	99.7



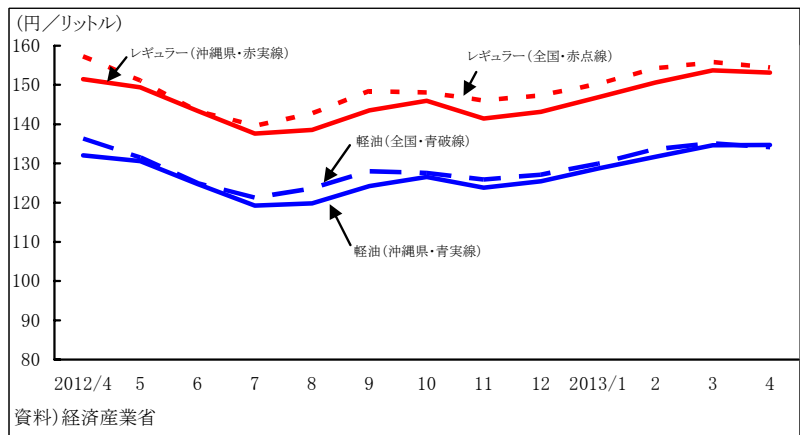
注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

4月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比0.3%下落し、100.5となりました。内訳をみると、自動車等関係費を含む「交通・通信(同0.6%増)」が上昇したものの、生鮮野菜などを含む「食料品(同1.0%減)」等が全体を押し下げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。

単位:円/リットル

	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
2012/4	151.5	132.0	157.3	136.3
5	149.4	130.6	151.1	131.4
6	143.4	124.7	143.3	124.9
7	137.6	119.2	139.6	121.3
8	138.6	119.9	142.7	123.6
9	143.6	124.2	148.5	128.0
10	146.0	126.5	148.1	127.6
11	141.4	123.8	146.0	125.9
12	143.2	125.4	147.4	127.2
2013/1	146.8	128.7	150.3	129.9
2	150.6	131.7	154.2	133.6
3	153.7	134.6	155.8	135.2
4	153.1	134.7	154.5	134.1



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

4月のガソリン小売価格等において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より1.1%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より2.0%(消費税込価格)上昇しました。